

# 学校関係者評価報告書(平成 28 年度)

評価項目	評価 (コメント)
<p>基準 1 教育理念・目的・育成人材像</p>	<p>①カリキュラムポリシーに明記されている他職種は多職種という視点も含まれると解釈したい。またティプロマポリシーに地域リハという表現があり地域との連携にも期待したい。</p> <p>②長く進路に携わり様々な進路先に進んだ卒業生を見ると、一見抽象度が高く、具体的な日々の活動とは距離のあるように思われる各校の教育理念や校風というものが、確実にそこで学んだ者の中に根を下ろすものであることを感じる。創立 40 年以上の歴史の中で、高い倫理観のもと利用者の生活創造に貢献する人材を送り出してきた貴学院の理念と実績は、今後とも是非堅持して頂きたい。同時に近年大学も含め 3 つのポリシーの明示が強く求められ、学校選びの際も重視されるようになってきている。同分野の他校と比較し、特に貴学院で強調したいポリシーは高校側へもより強くアピールされるべきと思う。入学を許可される生徒の学力の問題は大きい。今日高校側も入学前課題の必要性はよく理解している。外部業者作成による有料課題については予め保護者等への説明を付けるケースも有るが、いずれにせよ将来の国試合格に向けて高校側にできることがあれば生徒の為にも連携・協力させて頂きたい。</p> <p>③教育理念・目的・育成人材像などについては、少なくとも教員間での議論や自由な意見交換を通じて、一定の水準(枠組み)が共有化されていることが望ましい。</p> <p>④アドミッションポリシーは、OT・PT が各々立てた方が良いのではないか？OT/PT では、近い職種だが、学問や思考形態が異なっており、OT 向きの学生、PT 向きの学生がいると思われる。そのため、希望する学生像も、必然的に異なってくるはずである。</p> <p>⑤原案通りで結構です。</p> <p>⑥教育理念・育成人材像は学院設立以来変わらぬものと思われ、これが原理原則と共感します。</p>
<p>基準 2 学校運営</p>	<p>①人事考課については 28 年度より実施検討となっているが進捗状況は。</p> <p>②入学生確保の為の多様な学科・コース拡大のような方向に流れることなく、専門性に基づく人材育成に注力される貴学院の運営姿勢に、高校側からの評価は高い。専門学校の変革期にあたり、乗り越えるべき諸課題の前に、会議の持ち方や業務分担等、意思決定の流れの一層の整備にご苦労されることと思うが、負荷を全体でうまく分担し合いながら、理念に沿った運営方針の確認のもと、新しい挑戦とこれまでの良さを保持して頂きたい。</p> <p>業務分担の要の一つともなる情報システムについては、昨今のセキュリティ課題への対応と同時に学生指導にとって効果的な活用環境をお願いしたい。</p> <p>③引き続き、社会情勢や学生のニーズに対応した運営をお願いしたい。</p> <p>④教員の経営やコストに対する理解が不十分であるが、そもそも、教員は、経営の都合を顧みずに、理想的な教育を考え進んでいくべきであり、ある意味、経営者と戦うべき対立の位置にある職種と思われる。卒業生として、経営側になびくような教員は社医学には不要と考える。</p> <p>⑤原案通りで結構です。</p> <p>⑥入学希望者が減少していく中、いかに質の高い学生を得るか、IT など駆使した具体的な方策が必要と感じる。</p>

<p>基準3 教育活動</p>	<p>①厚労省の基準を上回る教育時間・内容という良い表現があるが、後にある国家試験の合格率が100%ではないという内容をみると連動性はどうか。</p> <p>②すでに厚生労働省の基準を上回る教育内容を設定されており、特に臨床実習前後の指導が手厚いと感じる。学生へのシラバスを通じての学修内容・目標明示、評価方法も透明性が担保されていると思う。国家試験合格率の一層の向上と、不合格者への引き続いてのご指導を今後ともお願いしたい。厚生労働省の指導要領改訂に伴い新教育課程への移行期であることについては全体でよく把握され、移行期の学生の混乱がないようにお願いしたい。また変更内容については高校の方へもお知らせ願いたい。</p> <p>③上記同様、社会情勢・ニーズに応じた教育内容を常に意識していただきたい。</p> <p>④昨今、臨床実習地で学生と指導者のコミュニケーション不足などによるトラブルが増えている。また、相変わらず、ハラスメントと思われる指導？が横行している。現代的な臨床実習を行うためにも、指導者への教育も、より一層考えていただきたい。</p> <p>⑤原案通りで結構です。</p> <p>⑥とくに実習先においては医療機関に偏らず多岐にわたる働き場所を経験させることも必要と思われる。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>①よいと思います。</p> <p>②長い伝統の中で卒業生の方の活躍も幅広く、求人については安定していると伺っているが、平成27年度については理学療法士の国家試験合格率が厳しかったと聞いている。入学生の変化という要因も大きいかと思うが、思い描いた将来の路が拓けるよう、引き続き学生の実情に沿ってご指導をお願いしたい。高校での履修科目の指定の必要など、合同の勉強会などが開けると良いと思う。その際、就職先で部門責任者等の活躍される卒業生の実態把握の結果などもお伝え願えればよいのではないかと。</p> <p>③問題はないと思われる。</p> <p>④原案通りで結構です。</p> <p>⑤国試合格は必須の目的であるが、人間形成は医療職として必須であることがもう少し盛り込まれたい。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>①就職率の高さは学生の努力・学校側のあらゆる尽力によるものということが伝わってくる。今後も求人が多いという現状に甘んずることなく丁寧な対応を期待したい。</p> <p>②就職にあたって就職先の専門性まで対応して頂けることは学生にとってもありがたいことだと思う。学生の実情に合わせ、カウンセリング体制の充実検討も行われている。学費についての分納制度、および宿泊を伴う臨床実習費用については、同分野の大学も含め負担に差が大きいようなので、補助の取り組みも含め、入学前ライフプランシミュレーションで明示していただくと志望校決定の大きな要素になる。夜間部のアルバイト先が学びの内容と繋がる場が多いことも広報ポイントになる。他分野で実施例があるように、アルバイト先が通学費用を負担する制度など検討できないか。28年度は入学前予約奨学金が大学で増えた年だったが、今後検討できないだろうか。</p> <p>③メンタル面のチェックについては、より一層力を注いでいただきたい。</p> <p>④とくに発達面で問題がある学生の殆どが、自分自身の理解が不足していると思われる。カウンセリングに留まらず、自分自身の特性（例えば感覚統合的な偏りなど）を理解できるような機会も必要ではないかと思われる。</p> <p>⑤原案通りで結構です。</p> <p>⑥転職支援については、新卒者だけでなく、既卒者も対応できるシステムが必要と感じる。</p>

<p>基準6 教育環境</p>	<p>①よいと思います</p> <p>②高い専門性をもって現場に出ていくために、日々専門知識・技術の習得を積み上げねばならない学生にとって、専門図書の充実や放課後の主体的学習に対する教材貸出等、よく対応してもらえる望ましい環境にあると思う。高校までと違って、放課後に主体的に学ぶ貴学院学生の姿に感銘と受けることが多いが、それも先生方の指導力と環境があればこそと思う。また臨床実習後の成長ぶりもよく伺うが、実習前後の丁寧なご指導あればこそと思う。必要な学外実習先施設がすべて学院で確保されている点も大きな安心であり高校側からも高く評価されている。ITC 教材等、新しい時代の流れの中で必要になるものについては状況の確認と整備をお願いしたい。学生の避難訓練については引き続き実施してほしい。</p> <p>③引き続き、実習施設（スタッフ）とのコミュニケーションを密にする工夫をお願いしたい。</p> <p>④必要に応じて、何度でも実習地に教員が赴く体制は素晴らしい。</p> <p>⑤原案通りで結構です。</p> <p>⑥とくに問題はないと思う。</p>
<p>基準7 学生の募集と受入れ</p>	<p>①少子化の中で選ばれる学校でありつづけるための工夫をなされていると思います。医療系大学は単発で小学生・中学生など年代別の参加型イベントを開催しており対象は低年齢化してきている。</p> <p>□介護ロボットの導入など介護人材確保問題との関係で新しい分野も注視されている。（病院のリハが活用）農工大で農作業軽減ロボの研究をしている研究室もあり将来的に異分野の学校との連携も視野にいれてはどうか。</p> <p>□同内容の専門学校や大学との合同説明会への参加。</p> <p>②「入学応募者対策アクションプラン」を拝見して熱意のほどが伝わってきた。職業理解の場として理学・作業療法の体験は、実施時期など高校側と調整し今後ともぜひ続けてほしい。その際、各高校では進路代表とともに看護医療分野は担当者を置くことが多いので当該担当者とも連絡を取れると良い。高校でのガイダンスは、映像や実際の道具を使える分野別の説明会がより有効。一斉のガイダンスでなくとも依頼先校と打ち合わせて、分野志望者を集めた個別日程で開催することもある。貴学院での進学説明会への参加状況や在学状況・就職決定状況の高校側へフィードバックが開催のきっかけとなるかと思う。特に夜間部については高校生・高校教員の理解不足が大きい。一方、夜間部が減少することへの高校側の危機感もあるので、夜間部を持つ学校の合同説明会などの検討はできないだろうか。また高校では、生徒から言い出される志望分野を待つだけの傾向もある。大学進学・卒業後、どのような学部・学科の学生さんが貴学院で学ばれているのか、大卒後再入学された学生さんとの懇談など、高校側との連携の工夫ができないだろうか。情報媒体としてはHPをよく工夫されているので、パンフレットやチラシにQRコードをうまくつける等の方法が良いと思う。努力をされている給付型奨学金の情報は提供時期がポイント。7月、9月の高校での面談時期に合わせると効果的かと思う。</p> <p>③PTやOTの社会的認知を高めていくことが、応募学生の増加につながると思います。</p> <p>④一般入試では、小論文、英語、面接となっているが、以前と比べ科目数が少なくなっている。数学Iレベルでもよいので入れるべきではないだろうか。</p> <p>⑤原案通りで結構です。</p> <p>⑥OTは全国的に応募減少がすすんでおり、イベントなどでピーアールが必要と感じる。</p>

<p>基準 8 財 務</p>	<p>①広報は費用をかけるときりがない部分もあり難しいと思います。  ②借入金等の負債皆無の健全な状態と思う。が、学納金収入でほとんどをまかなわれている中、この先大きな建替え計画も控えられているとのことなので、今後の募集との関係は大きいと思う。  ③新入学生を獲得するためにも、より貴学の社会的な評価を高めていく必要があると思う。入試科目が英語しかない学校では、「簡単に入れる学校」と評価されないか心配である。  ④原案通りで結構です。  ⑤収入源を広げるために、休日などの学院施設利用（セミナーなど）を積極的に取り組むべき。</p>
<p>基準 9 法令等の遵守</p>	<p>①よいと思います。  ②貴学院の中でハラスメントや個人情報の取り扱いに十分な対策をされていると共に、学生対象のカリキュラムにも「法令遵守」の指導内容が組込まれていることが分かった。昨今の SNS 拡大の流れの中では、最終的な規制は個々人の良心に頼るより方法がないような状況もあり、将来の職種上からも学生への一層の教育をお願いしたい。一方学力の不足や叱られ慣れていない生徒も増え、学生となった段階での指導場面でもハラスメントについて従来以上の配慮を頂かなければならないのかとも思う。  ③実習中のストレスを、SNS を利用して発散する学生が出ないように、口酸っぱく言って頂きたい。  ④原案通りで結構です。  ⑤コンプライアンスに関する学院内での担当委員などを選出し、内部統制をしっかりと行う方策が必要。</p>
<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>①さくら体操会場の中で最も人気のある場所で待機者もいる。せっかく地域の高齢者が毎週集まる機会があるので、学生さんとの交流や活動の一環として役立てていただきたい。  ②本来の教育活動とのバランスに留意されながら進められたい。2020 年の東京パラリンピックでの活躍に期待したい。高校の「人間と社会」の学習や都立高校の宿泊型避難訓練、都の合同防災訓等の場面で高校生と活動を共にすることができれば、高校生のキャリア教育としても、また貴学院の広報活動としても有効なのではないか。国際化する将来の職場を考えて英会話力なども身に付けられるとよいと思う。その際、たとえば多摩専協さんや地域の大学等と協力し、相互の専門性を活かした学び合いや合同実施が出来ないだろうか。  ③2020 年の東京オリンピック・パラリンピックは、良い機会と思われる。  （この機会に、ぜひ、PT や OT の社会的認知を高めて欲しい）  ④一部の教員のみが、地域貢献を積極的に行うと、その他の教員がその教員の尻拭いをしなくてはならなくなったり、地域貢献のことで頭が一杯になり学内業務でケアレスミスを起こすなどの問題を生じることがある。地域貢献も学内教育も人並み以上に行っていくために、教員の増員をすべきではないだろうか。（現在、OT 教員は最低基準の 6 名しかいない：ホームページで確認）  ⑤原案通りで結構です。  ⑥とくに問題はないと思う。</p>

その他のご意見	<p>①さくら体操の2回/週のご検討をお願いします。</p> <p>②多摩地区には看護医療系志望の高校生が多いが、リハビリ分野の職種に対する理解はまだ進路担当教員も含めて十分ではない。たとえば漠然と心理学を志望しているような生徒には作業療法の分野への関心が眠っているのかもしれない。貴学院が実施して下さる教員対象の職場見学会の機会はその意味でたいへん貴重であり、高校側もより強力に特に若い教員に参加奨励の動きを広げたいと思う。高校にとっては、毎年多くの卒業生が貴学院進学後、社会的に貢献できる力を付けて成長していく姿を見せていただけることに感謝している。今後とも多摩地区の生徒の為に一層のご発展と連携関係をお願いしたい。</p> <p>③夜学を持つ学校は少ない。働きながら通える貴校の存在価値は現在も高いが、今後は一層その役割は重要になっていくかもしれない。</p> <p>④資料の作成関係者の皆様、大変ご苦労さまです。</p>
---------	--